

## 新体制で始動 — 楽しく、安全に —



5月3日 ワンデーマーチ (関連記事3面)

### 新年度総会開かれる

公民館長 笹 行夫

去る4月23日に令和8年度の公民館新年度総会が開かれ、今年度の主な行事の日程を決定するとともに、充実した、楽しい活動を進めていくことを確認しました。今年度は

多くの分館長や分館主事、各部員の方が入れ替わり、フレッシュなスタートとなりました。戦後、公民館が発足するきっかけとなった通達文部省から出されて今年で80年になります。新しい憲法の公布と並行して、そこに盛られた民主主義の考え方を学習・実践する場として公民館は期待されました。

退と権威主義化が指摘されます。私たちは出発の意図を大切にしながら、自分たちの手による自分たちのための活動を継続していきたいと考えます。

民主主義の世界的な後

### えんしよくぞい

「えんしよくぞい」を書いてくれますか。二つ返事で引き受けたが、「えんしよくぞい」? :

「鼎」から連想された仏具の三具足(みんぞく)燭台であった。仏教において火は、暗闇を照らす智慧の象徴とされ、燭台に灯された火は仏様の教えを表す大切な存在である。お釈迦さまが入滅される際、弟子の阿難尊者が「お釈迦様亡き後、誰を頼りにして修行すればよいか」と尋ねたのに対し、お釈迦様は「自灯明(じとうみょう)、法灯明(ほうとうみょう)」という教え(遺言)を残された。自灯明とは、自身を抛り所(灯…ともしび)にすることであり、法灯明とは、真理や教えを抛り所にすることである。ところが、「えんしよくぞい」はこれとは全く関係なく、松尾城址の監視哨「遠囀台」のことらしい。先入観とは恐ろしいものである。「自灯明」の教えを主軸に伝える武道がある。宗道臣が開いた少林寺拳法である。私自身、自己確立を目指し学生時代から始め、早40年が経つ。生かされている限り、土曜の夜の飯田市武道館での修行は続く。(切石 Y・H)

# 新役員の紹介

## 公民館が紡ぐ 安心の繋がりが



分館長会長  
米山和彦

この度は大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。微力ながら育てていただいた地域への恩返しを気持ちを含めてお受けしました。まちづくり委員会では防災を重点に据えており、私も日頃

## 主事会会長として



分館主事会  
会長  
川口充央

県公民館主事会会長を務めさせていただく中平分館の川口充央と申します。よろしくお願い申し上げます。

私も分館主事や本館文化委員長など、長く県公民館の活動に携わらせていただきました。公民館

からの繋がりがこそ、いざという時に互いを支える力になると感じています。そのためにも「顔の見える関係性」を大切に、日常の中で声を掛け合える雰囲気づくりを心掛けています。私の気持ちを表す造語ですが「遠くの親戚より、近くの公民館」。お互いを繋ぐ糸口を見出し、みんなの拠り所となる公民館になれたら嬉しいですね。

を支えているのは、それぞれの地区の特徴を活かした分館事業だと思います。以前と違い、「人集めが大変」「事業を縮小せざるを得ない」などの分館の事業も大変な時期にきています。

しかしながら、住民の顔が見られるのが公民館活動の大事な部分だと思います。そのお手伝いを主事会として、少しでもできればと思います。

## 笑顔溢れる 二年間に



文化委員長  
久保田智代

県に暮らし30年余。夫も私も元々は県の人間ではありませんが、地域に馴染めたのは公民館のおかげでした。

## 勝ち負けよりも 楽しく



体育委員長  
松下誠宏

今年から二年間体育委員長を務めさせていただくことになりました。下茶屋の松下です。活動計画としては基本的に例年と大

## 県公民館の 現在地を



広報委員長  
櫻井勝司

県公民館及び10分館の活動。「公民館」という居場所に人が集い、人を知り理解を深め、過去と

女性はPTAを終えると繋がりが途切れがちですが、それを補ってくれるのが公民館です。

文化委員会として、誰もが「居場所」と思える温かな交流の場を企画していきます。皆さんと一緒に、笑顔溢れる楽しい二年間にしたいです。一緒に楽しみましょう。

大きく変わりませんが、ペタンク大会・駅伝大会では晴天の下で県全体の親睦を深められることを楽しみにしております。分館対抗ではありませんが、勝ち負けよりも参加することで身体を動かして楽しんでもらいたいと思います。終わった後は慰労会で盛大に盛り上がりましょう。

未来そして現在を語る。公民館は、相互交流や情報交換の場となっております。明日の地域社会を創るための「縁」を醸成していると思われまます。広報委員がより親しく読みやすい紙面づくりに努めます。館報の取材にご協力をお願いします。

## 副会長、副委員長 本館委嘱委員



分館長会  
副会長  
黒河内隆史



分館主事会  
副会長  
元島宏明



文化  
副委員長  
桐生貴透



文化  
副委員長  
山下誠



体育  
副委員長  
渡部益利



体育  
副委員長  
山田貴久



広報  
副委員長  
牧野智恵子



広報委員  
加藤善子



広報委員  
田中 学



広報委員  
黒河内直弘



管理係  
近藤真里  
(敬称略)

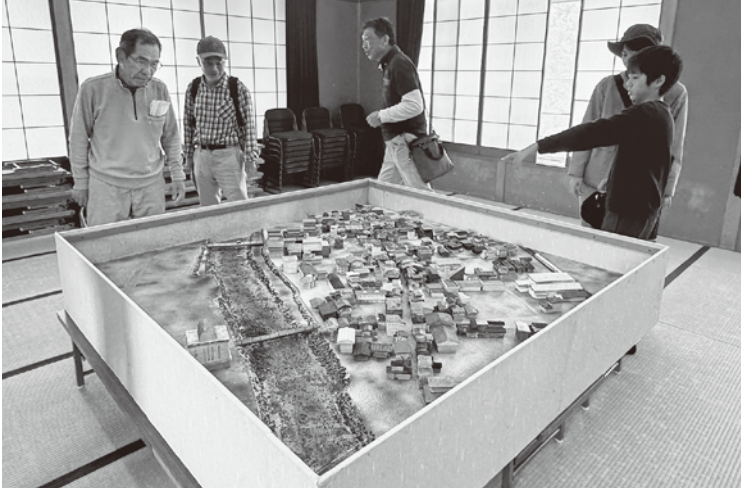
## 令和8年度 県公民館事業計画

- ふるさと再発見 ワンデーマーチ 5月3日(日・祝)
- 県地区分館対抗ペタンク大会 6月7日(日)
- かなえっこだっきどきスクール 7月26日(日)
- いいだ人形劇フェスタ2026 7月30日(木)~8月2日(日)
- 第38回県地区縦断駅伝大会 9月6日(日)
- 県地区文化祭 10月31日(土)~11月1日(日)
- 小中PTA公民館合同講演会 11月6日(金)
- 令和8年度県地区二十歳の集い 9年1月10日(日)
- 第39回県公民館長杯冬季スポーツ大会 9年1月24日(日)
- 飯田市公民館大会 9年2月14日(日)

5月3日(日・祝)

# ふるさと再発見 ワンデーマーチ

総勢500人が参加



上茶屋のジオラマを見学

## 県の魅力、再発見!

文化委員長  
久保田智代

5月3日、文化委員会による年度最初の行事、「ワンデーマーチ」を開催しました。当日は歩きやすい気候の中、500人を超える皆さんに参加をいただきました。今年度は道中にクイズを盛り込み、楽しみながら県を深く知る工夫を凝ら

しました。休憩ポイントの四季の広場や上茶屋公民館では地域の成り立ちを学び、羽場坂の大橋からは住み慣れた街を一望。自分の足で歩くことで、普段は見慣れた景色の新たな魅力を再発見する貴重な一日となりました。参加者からは「ちょうどよい距離で、知らない道を歩いて楽しかった」と好評を博し、運動不足解消とともに地域の歴史や風景に触れる良い機会となりました。

## ワンデーマーチが終わって

上茶屋分館文化部長  
倉田 一

本年度上茶屋分館文化部長を務める倉田一です。よろしくお願ひします。



5月3日に本年度文化

## 県を歩き

絆を深めた一日

名古屋分館文化部長  
関島寿幸

5月3日、晴天のもと県地区ワンデーマーチに参加しました。初夏の風を感じながら地域を歩くと、普段は見過ごしていた景色の中に新たな発見があり、改めて県の魅力を再確認できました。

その後の懇親会では多くの方々と親睦を深め、地域のつながりや絆を実感する貴重な時間となりました。



こうした温かい交流を大切に、今後も地域活動に励んでいきたいと思ひます。

部担当の最初の行事ワンデーマーチが開催されました。新任最初の行事で不安いっぱいの中、当日の天候までも微妙で不安な予報。当日まで本当の色々悩みました。が、終わってみれば天気若干の回復にも助けられ、一連の行事全て予定通り終えることができました。焼肉を食べて盛り上がる皆の笑顔が見られて心から安心しました。「イイじゃん上茶屋!老いも若きも集える地域」次の行事も頑張ります!



順位		地区名		勝数		敗数	
優勝	一色	17	1	5	2	5	2
準優勝	切石	14	3	9	3	9	3
3位	上茶屋	12	0	11	0	11	0
4位	上山	11	2	10	3	10	3
5位	下山	11	0	11	0	11	0
5位	名古屋	11	0	11	0	11	0
7位	東郷	10	3	9	3	9	3
8位	中平	9	3	9	3	9	3
9位	下茶屋	9	2	9	2	9	2
10位	西郷	5	2	5	2	5	2

## 6/7 県地区体育祭 ペタンク大会 結果

530人が参加



「もなか種」の伝統と、  
写真が映し出す創造力

中平 福山 幸雄さん (57歳)

突然ですが、もなかの皮の正式名称をご存じですか？

正解は「もなか種」今回は、その製造・販売を手がける株式会社たねふく代表取締役の福山幸雄さんに、趣味の写真についても含めてお話を伺いました。

たねふくは1917年に福山種菓子店として創業、もなか種を伝統的な手焼き製法で製造しています。現在は様々なデザインを施したり他用途に使えるよう、もなか種の可能性に挑戦し続けていらっやっています。

一方写真は15年以上前からの趣味。最初は二眼レ

フを主に使い街中を撮影されていたそうです。デジタルのように扱いやすくないものの、経験や勘が生きるところが魅力とのこと。戦前戦中のカメラも所有され、中には旧ソ連のものもあるそうです。熱量あるお話に引き込まれました。

創造力やアイデアを形にすることは自己表現の幅を広げます。写真に向き合う時間は本職にも生きていたと感じた取材でした。

たねふくの詳細は、下記ホームページをご覧ください。ホームページ掲載写真はすべて福山さんが撮影されたものになります。

<https://tanefuku.com>

(取材 / 中平・佐藤臣志)

かなえびと

No.63

記事作りの難しさや伝える事の大切さを改めて感じており、広報部員として地域の皆さまの活動や身近な話題を少しでも分かりやすく伝えられる

4月より新しい役員体制となり、私も今年度から広報部の一員となりました。歴史ある「公民館報かなえ」に携わることも今回が初めてとなります。

編集後記

私は小学2年生から陸上クラブで練習し、1000m走をがんばっています。練習では10分走ることもあり、とても苦しくてやめたくなる時もあります。



西 藤 碧 彩さん (6年生)

がんばっていること

でも先輩に「必笑」という言葉を教わりました。楽しくなければ速くならないし、勝負にも勝てないという意味です。苦しい時こそ笑顔で走ると、前より最後までがんばれるようになりました。これからも休まず練習を続け、県大会に出られるようにがんばりたいです。

よう努めてまいります。また、写真や文章を通じて、鼎地区の魅力や雰囲気を感じていただければ嬉しく思います。まだ、不慣れではありますが、広報部員として地域に寄り添いながら、皆様に親しまれる「公民館報かなえ」を目指してまいります。今後ともよろしくお願いたします。

(下山 H・M)



No.137